

1. コンセプト

※広報コミュニケーションプランナー 谷 氏と協働作成（プロポーザル仕様書用）



うれしい、おいしい、みんなしあわせ信州

～ともに育てる、日本の未来を耕す農福連携～

何故、農業と福祉を連携させるのか
「共生社会の実現」をどう図るのか



農福連携が持つ「社会的意義」
「食を通じた価値の共有」

・「うれしい」気持ち
・「おいしい」体験
・「しあわせ」なつながり

農と福の連携は「支援」
ではなく「共に生きる」
取組

【長野県が農福連携を推し進めていくための3つのキーマッセージ】

農家にとっての
「作り続けられてよかった」

うれしい

障がいのある方にとっての
「働いて、感謝されてよかった」

うれしい

多様な方々が共に働くことで、農業の現場に新たな力と
温かいつながりが生まれます。人手不足の解消だけで
なく、信頼関係が築かれます。

しあわせ

自然の中で体を動かし、作物を育てる体験は、達成
感と自己肯定感を育みます。「認められた」という実
感が、社会とのつながりを深めてくれます。

みんなにとっての
「また、買いたい」

おいしい

農福連携から生まれた農産物は、背景にある想いや努力が詰まった
“物語のある食べもの”。食卓に笑顔と共生の心を届けてくれます。生産
者と消費者が食を通じてこの取組に参加し、共生社会の一員となること
ができます。

認知度の向上を
図ることが課題

2. 実施事業イメージ

本事業で「ノウフク」の意義を理解し実体験できるイベントを多様なステークホルダーや市町村・民間と連携し実施、機運を活気づけ広げる

消費者を含めた幅広い層に認知してもらうための仕掛けづくり

会長県として全国的な取組を実施してリードし、全国的な機運醸成に

広報

WEB、SNS、新聞広告、TV広告、映画館広告、
デジタルサイネージ等

マルシェ



シンポジウム



デジタルスタンプキャンペーン

現地研修会